

令和5年度 裾花幼稚園 「園の自己評価」(モニター会提出用)

より良い園運営を行うための、先生方による自己評価です。これは国からの評価項目の指標に基づいた園の自己評価となります。

1. 園の教育目標

いっぱい遊んで、元気に挑戦!!

2. 本年度の重点目標

- (1) 頭と心と体をつかって、自由に伸び伸びと遊ぶ。
- (2) 友だちのよさに気づいて、協力して活動できる。
- (3) やろうときめたことを最後まであきらめずにやり抜く。

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修(資質向上への取組)	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会(モニター会)を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTAや学校関係者委員会(モニター会)等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 園長より本年度の取り組みについて

課題 子どもたちがのびのびと、より活動をしていくための環境整備をしていく

園目標達成のための方策について、より職員間で共有し、活動の振り返りをして次の活動につなげていく

園目標「いっぱい遊んで、元気に挑戦!!」をめざし、本年度の重点として、3点を中心に活動してきた。遊具を使った遊びだけでなく、水遊び、泥んこ遊び、雪遊びなど、子どもたちはのびのびと園庭に出て遊んでいる姿がある。各学年が行事や月目標など活動のめあてを決めて、先生方は、子どもたちの意識や自主性を大事にしながら活動をすすめてきた。子どもたちは、お互いの考えを伝え合い、協力し合う姿がみえ、自信をもち、次の活動に進んでいく姿が多かった。クラスや学年の枠を超えた交流も取り入れることで、活動の幅が広がった。その様子は、先生方のお便りや、ホームページ等を活用して保護者や外部に発信をした。また、保護者にみてもらった行事では、好意的な意見や感想を多くいただくことができた。今年度の園目標をもとに活動を進めてきたことは、子どもたちの成長につながってきたと考えられる。